

## 私が大切にしている言葉より

『天行は健なり、君子は自ら彊(つと)めて 息(や)まず』 [『易経』中国の昔の教えより]

意味：天体の運行は一瞬も休まず、太陽・月の運動も春夏秋冬のめぐりも、すべてそうである。

気分が乗るとか乗らないとか、暑いとか寒いとか、都合があるとかないとかで滞ったりはしない。粛々とひたすらに運行する。私たち人間もそうでなければならない。環境がどうだろうと、情感がなんだろうと、天の運行のように、与えられた命をひたすらに生きる。それが命の本質であり、命を躍動させて生きることなのである。以下、学校生活にあてはめました。

7月に入り、1学期もカウントダウンをする頃に入りました。児童達は、1学期のまとめに励んでいくことと思います。気持ちに区切りを付けて夏休みを謳歌するためにも、毎日の学習・生活をコツコツと励んで行って欲しいです。「学力の定着・向上」に大切なのは、『ていねいさ』と『こつこつと継続して励み続けること』だと思っています。

また、1学期を振り返って、学習で分からなかったことをそのままにしない。できていないところを残さない。これらも大切です。加えて、交友の面でも、スッキリとした気持ちで夏休みが迎えられるようにして欲しいと願っています。無理せず、気負わず、毎日、コツコツと・・・

## ・ 水難事故に注意しましょう

本格的な夏も間近。水遊びを楽しむ機会も増えてくるとと思いますが、水の事故への注意が一層必要です。行為別では、河川での水遊びの事故が多いですが、海やプールでの遊泳中の事故にも気を付けましょう。以下に危険回避のポイントを示します。

■危険を示す掲示板がある場所や立ち入り禁止の場所には近づかない ■河川は穏やかに見えても、深みや急な流れがあることを知り、急な増水にも気を付ける ■岸から沖への流れ（離岸流）が発生しやすい河口付近、岩場などは入水しない。また、用水路やため池、プールなど、身近な場所でも注意を怠らないようにしましょう。



## ・ お知らせ & お願い

本校では、学校経営の重点として、人権教育の推進を掲げており、その中には多文化共生教育が含まれています。国籍や民族等の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い共に暮らしていく社会にするためには、多文化共生教育を進めることが、とても大切だと考えています。とりわけ、外国とのつながり（ルーツ）をもつ児童が自分のルーツを大切に、また周りの児童もそれを大切に思い尊重することはとても重要なことです。

【「外国につながる（ルーツ）がある」とは、保護者の方や児童自身が外国で生まれ育っている、もしくは、外国で長期で滞在していたことがあることをさします。】

つきましては、外国につながる（ルーツ）があるお子様がいらっしゃる場合は、個人懇談等で担任にお知らせいただければ幸いです。お知らせいただいたご家庭には、希望により、大阪府や豊中市からのお知らせ（多言語版）をお渡します。

今年度も教職員で気持ちをそろえて多文化共生の学習をより一層進めていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力のほど、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

